

第3回発達障害医療機関ネットワーク構築のための支援者研修実施要領

『地域で抱える発達障害 ～多職種連携が目指すもの～』

広島県では平成30年度より「発達障害医療機関ネットワーク構築事業」として、発達障害の適切な医療体制を確保することを目的とし、発達障害に対応できる医療関係者を養成するとともに、専門医とかかりつけ医や支援者との連携体制（多職種連携、多機関連携など）を構築することを目指しています。本研修では「顔の見える関係づくり」を目的に、テーマに沿った講演とグループワークを行ってきました。

今回は、『地域で抱える発達障害』をテーマとし、愛知県尾張福祉相談センター 児童専門監 吉川徹先生にご講演いただきます。昨年度も広島市でご講演いただき大盛況でしたが、「東部地域でも開催してほしい」というご意見をいただき、この度は福山市でご講演いただくこととなりました。東部地域の方はもちろん、他の地域の方々にも幅広くご参加いただけたらと思います。また、後半には、地域別に分かれてのグループディスカッションも予定しております。

医療、福祉、教育など幅広い領域で支援に携わる方々にとって、日々の発達障害支援のヒントが得られる機会になればと考えておりますので、発達障害児・者の支援に携わる方々のご参加を心よりお待ちしております。

●講師 愛知県尾張福祉相談センター 児童専門監 吉川 徹 先生

日本児童青年精神医学会 認定医、子どものこころ専門医、日本精神神経学会 専門医・指導医

〈著書・編著書〉

・吉川徹著『ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち：子どもが社会から孤立しないために』合同出版 2021

・日詰正文・吉川徹・樋端佑樹編『対話から始める 脱！強度行動障害』日本評論社 2022

・井上雅彦・吉川徹・加藤香編『ペアレント・メンター活動ハンドブック 親と地域でつながる支援』学苑社 2014

ほか

●司会 医療法人翠星会 松田病院 児童精神科医 洲濱 裕典 先生

●日時 令和7年2月2日(日)9:30～12:30 ※9:00 受付開始

●会場 広島県立ふくやま産業交流館(福山ビッグ・ローズ) 小展示室EF (広島県福山市御幸町大字上岩成字正戸 476-5)

●定員 150名(先着順)

●対象者 県内の発達障害児(者)等を支援する関係支援機関(医療、教育、福祉、司法)

●参加費 無料

※申込方法等は裏面をご覧ください

●申込み方法

以下の URL または QR コードから申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

URL: / <https://forms.gle/cHjpBqRcQgh5SWzs8>

【必要事項】

- ① 氏名(ふりがな) ② 職種
- ③ 所属機関(所属機関の住所) ④ 電話番号(当日連絡可能なもの)
- ⑤ メールアドレス



申し込み期限: 令和7年1月21日(火) ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

●プログラム(予定)

9:00 ~ 9:30	受付開始
9:30 ~ 11:00	開会 講演
11:00 ~ 11:40	グループディスカッション
11:40 ~ 12:30	発表、閉会

【問い合わせ先】 医療法人翠星会 松田病院 担当:医療相談科 金丸
電話 082-253-1245(平日 8:30~17:00)
メール matsuda105@matsuda4137.or.jp